

様式4 障害者グループホーム第三者評価 評価後のコメント表

※ 「評価結果報告書」必須添付資料

障害者グループホーム 評価後のコメント表

評価後（評価結果を受け取った後）のグループホーム「コメント」（自由記述）

評価を受けた障害者グループホームのコメント

◇特に評価の高い点について、

1, 利用者さんの支援については、事業所で心掛けている利用者さん個人の意向を尊重するということが評価されており、方向性や具体的な支援は間違っていないということが確認できました。

また、具体的な支援内容について調査員との問答から足りていない部分も見えたので、職員間で再確認して改善したいと思います。

2, 業務の標準化と個別支援の両立については、事業所開所から6年が経って蓄積した支援の経験やそれ以外の業務の引継ぎを効果的に行うために、利用者さんの支援マニュアルを整備し、効率的な業務を行うための業務の標準化や職員への業務配賦を絶えず行っています。これからも利用者さんの状況を見極めて、利用者さん自身の経験を強みにしながら、長い期間を展望した継続性のある支援を行います。

◇改善を求められる点について、

1, 非常勤職員の能力向上への取り組みについては、非常勤職員の方々の生活サイクルに合う法人内・法人外研修が少なく、ごく少数の方しか参加できていないのが実情です。それでも最近はZOOMの研修も増えているので参加者は増えています。事業所内では、職員会議等で常勤職員が研修で学んだ内容を伝えています。伝達内容の質に限りがあるので専門性を高めていくことが課題になっています。また、他の事業所の職員とグループワーク等を通して、他のホームではどのような支援を行っているのか等を知る交流の機会の必要性も感じていることから、今後は更に資質向上の活動や交流を励行します。

2, 事業所の取り組みの情報発信については、ホームの利用者さんが地域の中で生活する当事者であるということから、地域の福祉事業所等のフォーマル、まちづくりセンターを中心としたインフォーマルなサービスを利用するという地域資源の活用については意識して行っていますが、情報発信については行っていませんでした。今後は、地域の福祉資源を作る・活かすという視点からも、作成の必要性を感じていた事業所パンフレットを手始めとして行いたいと思います。

今回の調査は利用者さんにとって、普段会うことのない外部の審査機関の方に話をする機会を得て、いつもとは違う雰囲気ですぐに話を話す良い経験となったようです。これを機に、もっと自分を表現することに意欲的になってもらえたらと思います。

一連の審査により課題として認識・評価された事を職員間で共有して、意識を高めて改善していきたいです。